



三井金属鉱業株式会社
株式会社エミネット

2009年3月25日

各 位

青果物非破壊内部品質センサー商品の販売提携について

～三井金属鉱業株式会社と株式会社エミネットとの間で商品販売機能を統合～

三井金属鉱業株式会社（社長 竹林義彦 以下、三井金属）と株式会社エミネット（社長 辻井武彦 以下、エミネット社）は、このたび青果物を対象とする非破壊内部品質センサー事業において、両社の同センサー商品の販売機能を統合することに合意しました。

この提携により両社の同センサー商品の拡販強化を図ると同時に、将来的には、商品開発など当事業全般にわたり両社の連携を強めてまいります。

＜青果物非破壊内部品質センサーの販売提携＞

このたびの提携は、両社が製造する青果物非破壊内部品質センサーの販売機能を統合し、顧客窓口の一本化、サービスの本質化、製品の利便性向上を進め、よりきめ細かなサービスと新技術を市場に提案していくことを目的としています。

既に2月23日付で締結した両社間の契約に基づき、今後、両社の同センサー商品につきましては、三井金属が一括して窓口となり販売することとなります。当提携による両社商品の販売は、全体で年間約20～25億円を見込んでいます。

今回の提携によって、受注に対する幅広い対応を可能にし、両社の同センサー商品に対する拡販強化を図ってまいります。また、今回の提携を機に将来的には、これまで両社が独自に培ってきたアフターサービスや技術を結集して最適化をはかり、商品開発の技術交流を深めるなどのさらなる連携も視野に入れ、市場において両社のシナジーを一層発揮してまいります。

＜青果物非破壊内部品質センサーとは＞

青果物非破壊内部品質センサーは、近赤外線という目に見えない光を青果物に照射した際、その光の波長が青果物に吸収されたり、通過や反射したりする変化を測定することで、青果物内部の状態や品質を判別する装置です。主に、糖度、熟度、酸度、変色、蜜の有無などを測定します。

1989年に三井金属が、非鉄金属資源の探査のため人工衛星からの情報を分析するリモートセンシング技術を応用し、同センサーを国内で初めて開発し事業を開始しました。また、エミネット社も当社の事業開始からあまり時を置かず同センサー事業を開始しています。以来両社は、同センサー市場をリードすると共に、付加価値の高い青果物の効率的な生産を可能にし、新たな営農の実現をサポートし続けています。

＜市場動向＞

現在では、国内のみかん、りんご、桃など一般の多くの果実の選別に青果物非破壊内部品質センサーが利用されていますが、品質向上に対する消費ニーズは、今もあらゆる果実や野菜に波及しています。こうした食への嗜好が高まる中、同センサー事業は、今後も測定対象とする青果物の開発余地が見込まれ、市場の広がりが期待できます。

通常、青果物非破壊内部品質センサーは、青果物を選別するコンベアに取り付けられ、それら全体で一つの選果システムとして利用されます。現在、選果機市場は、約100～150億円とも言われ、コンベア企業各社がその大きなシェアを占めています。昨今、これらコンベア企業各社も同センサー事業へ参入する中、当事業の専業である三井金属とエミネット社は、このたびの提携を通じて従来築き上げてきた同センサーに対する高い信頼性の維持向上を図ると共に、市場に対しその技術力とブランド力を一層強く示してまいります。

【ご参考】

三井金属製青果物非破壊内部品質センサー



エミネット製青果物非破壊内部品質センサー



※下部のコンベア上に並んだ黒い円盤に青果物を乗せ装置内部を通過させ測定します。

以 上

【本件お問い合わせ先】

三井金属 経営企画部広報室

TEL 03-5437-8028 FAX 03-5437-8029

Eメール PR@mitsui-kinzoku.co.jp

エミネット 第1事業部 岩崎

TEL 073-473-1893 FAX 073-473-6577

Eメール iwasaki@eminet.co.jp